

高格付債券ファンド(為替ヘッジ70) 毎月分配型 <愛称「73(しちさん)」>

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第29期 (決算日2015年 8月10日) 第30期 (決算日2015年 9月10日) 第31期 (決算日2015年10月13日)
 第32期 (決算日2015年11月10日) 第33期 (決算日2015年12月10日) 第34期 (決算日2016年 1月12日)

作成対象期間 (2015年7月11日～2016年1月12日)

第34期末 (2016年1月12日)	
基準価額	9,997円
純資産総額	2,259百万円
第29期 ～ 第34期	
騰落率	△0.5%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高格付債券ファンド(為替ヘッジ70)毎月分配型」は、2016年1月12日に第34期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりま

した。ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

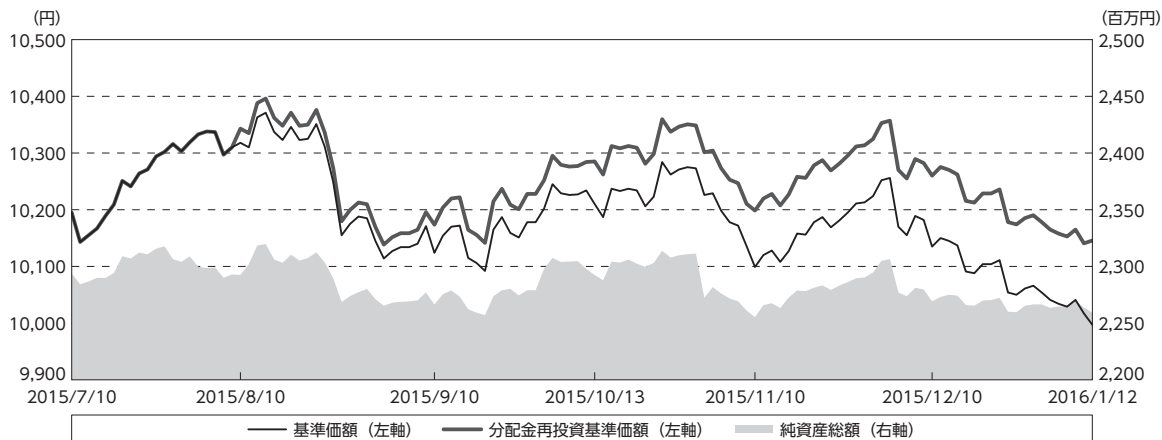
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
 午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2015年7月11日～2016年1月12日)



第29期首：10,195円

第34期末：9,997円 (既払分配金 (税込み)：150円)

騰落率：△0.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2015年7月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

第29期首10,195円の基準価額は、第34期末に9,997円 (分配後) となり、分配金を加味した騰落率は△0.5%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざしております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資対象である2つの投資信託証券それぞれにおいて、投資している債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資対象である「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」において、投資対象国であるアメリカ、イギリス、フランス、ベルギーの10年国債利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)」において、投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下したこと。

<値下がり要因>

- ・投資対象である「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」において、スウェーデンの10年国債利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。
- ・投資対象である「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」において、為替ヘッジに伴なう費用を支払ったこと。

1 万口当たりの費用明細

(2015年7月11日～2016年1月12日)

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 42 (15) (25) (2)	% 0.412 (0.148) (0.247) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用)	6 (1) (0) (5)	0.056 (0.005) (0.003) (0.048)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	48	0.468	
作成期間の平均基準価額は、10,195円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

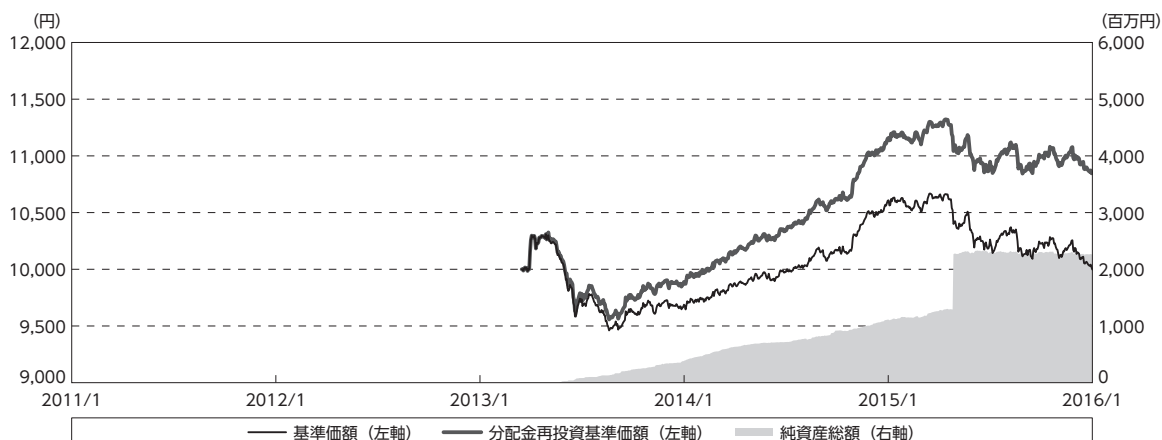
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年1月11日～2016年1月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月25日です。

	2013年3月25日 設定日	2014年1月10日 決算日	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,646	10,563	9,997
期間分配金合計(税込み) (円)	—	225	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.3	12.8	△ 2.6
純資産総額 (百万円)	3	395	1,101	2,259

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年1月10日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2015年7月11日～2016年1月12日)

〔ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド〕投資対象国の債券市況

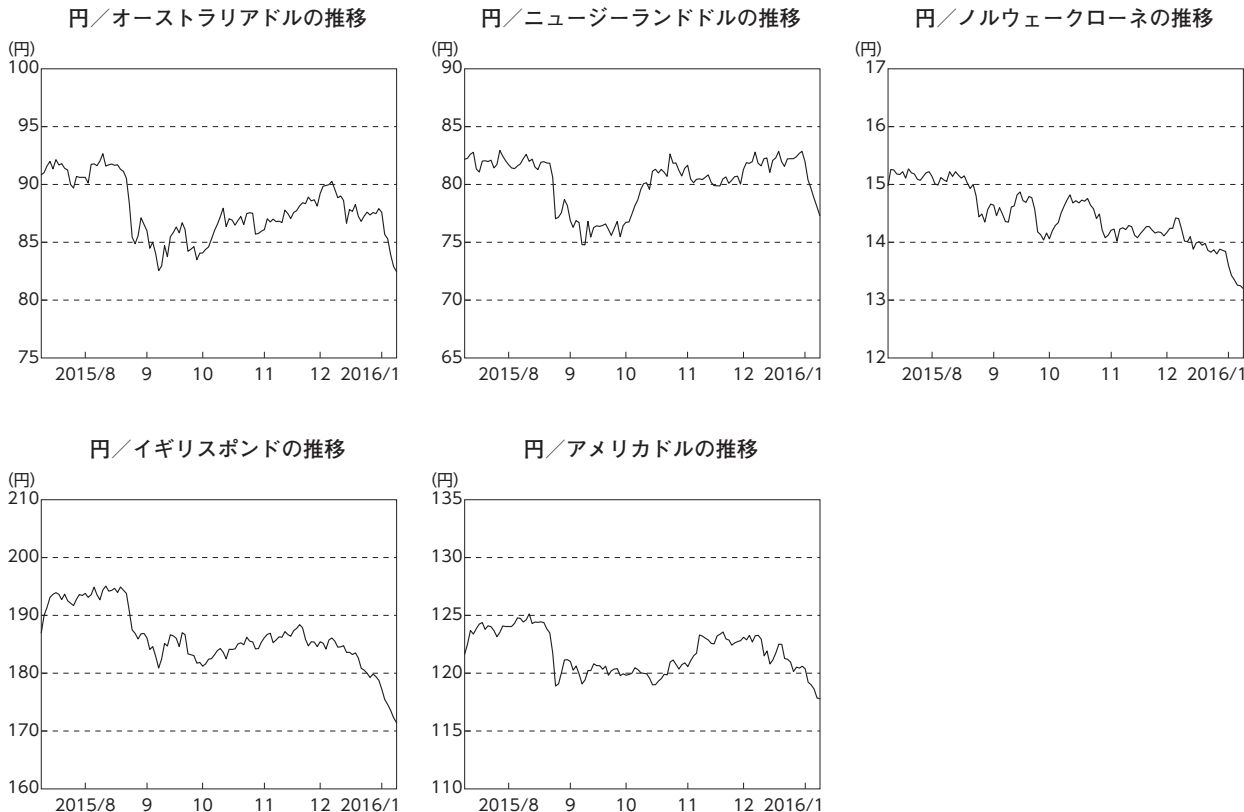
期間の初めから2015年10月下旬にかけては、アメリカの堅調な雇用統計の発表などを受けた米国連邦準備制度理事会(FRB)による利上げ観測が各国の国債利回りの上昇要因となったものの、中国経済や世界経済の減速懸念や、世界的な株安を受けた投資家による国債など安全資産への逃避需要の強まり、9月に開催された米国連邦公開市場委員会(FOMC)における利上げの見送り、欧州中央銀行(ECB)やスウェーデンの中央銀行による追加金融緩和策への期待の高まりなどから、各国の国債利回りは低下しました。その後、期間末にかけては、原油価格の下落や世界経済の先行き不透明感などが各国の国債利回りの低下要因となったものの、アメリカの市場予想を上回る内容の雇用統計の発表を受けたFRBによる利上げ観測や、12月に開催されたFOMCにおける利上げの決定、ECBによる追加金融緩和策が投資家の失望を誘う内容となったこと、スウェーデンの中央銀行による追加金融緩和観測が後退したことなどから、各国の国債利回りは総じて上昇しました。

〔高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)〕投資対象国の債券市況

期間中は、米国の市場予想を上回る内容の雇用統計の発表などを受けたFRBによる2015年中の利上げ観測などを背景に国債利回りが上昇する局面があったものの、世界的な景気の減速懸念や世界的な株安を背景とした投資家による国債など安全資産への逃避需要や、原油など資源価格の下落を背景としたインフレ観測の後退、ECBによる量的金融緩和策の強化観測などを背景に、各国の国債利回りは総じて低下しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2015年7月11日~2016年1月12日)

(当ファンド)

当ファンドは、「ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド」 受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)」 受益証券を30%程度組み入れることで、実質的に純資産総額の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ないつつ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

(ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド)

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。期間の初めから、アメリカ、フランス、ベルギー、イギリスの4カ国への投資を継続しました。

2015年8月には、スウェーデンの中央銀行によるマイナス水準の政策金利維持など非常に緩和的な金融政策が継続されると想定されたことから、スウェーデンを新規の投資対象国として組み入れました。一方で、近い将来の利上げが想定されるイギリスを非保有としました。10月には、ECBによる追加金融緩和観測が強まったことからユーロ圏の国債利回りが全般的に低下したことから、ユーロ圏の債券の投資妙味が後退したと判断し、フランスを非保有としました。一方で、低水準のインフレ率が継続するとの観測を背景にイングランド銀行(BOE)による利上げ観測が後退したイギリスを再度組み入れました。その結果、期間末時点での投資対象国は、アメリカ、ベルギー、スウェーデン、イギリスの4カ国となりました。

期間中、ポートフォリオ全体の修正デュレーション(金利感応度)は、国債利回りのボラティリティ(変動性)が高まった局面では機動的な対応を行ない、7.5年~8.0年程度の範囲で推移しました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

(高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け))

期間中、投資対象国(通貨ベース)の変更はありませんでした。組入比率についてはイギリスなどの組入比率を引き上げた一方、ニュージーランドなどの組入比率を引き下げました。

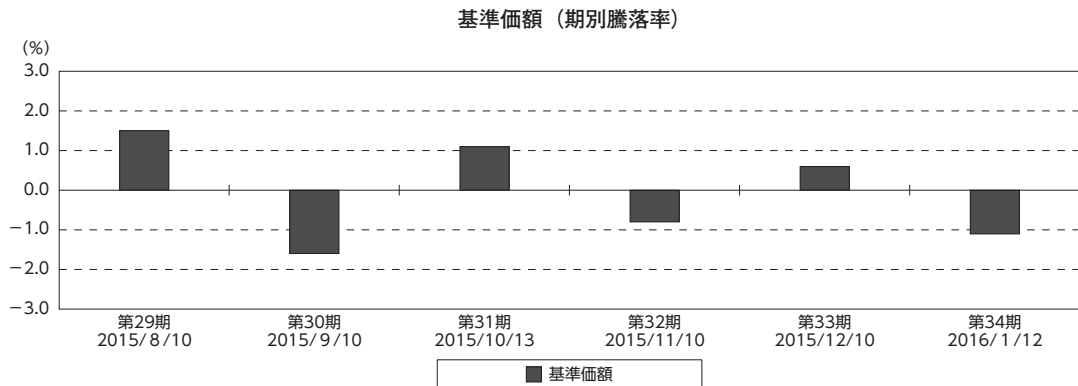
国ごとのデュレーションを調整し、ファンドへのリターンの最大化に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年7月11日~2016年1月12日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

以下のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

分配金

(2015年7月11日～2016年1月12日)

第29期～第34期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2015年7月11日 ～2015年8月10日	2015年8月11日 ～2015年9月10日	2015年9月11日 ～2015年10月13日	2015年10月14日 ～2015年11月10日	2015年11月11日 ～2015年12月10日	2015年12月11日 ～2016年1月12日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.242%	0.246%	0.244%	0.247%	0.246%	0.249%
当期の収益	24	17	24	16	22	17
当期の収益以外	0	7	0	8	2	7
翌期繰越分配対象額	1,233	1,226	1,226	1,217	1,215	1,207

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)」受益証券を30%程度組み入れ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なう方針です。

(ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド)

引き続き、現在投資を行なっているアメリカ、ベルギー、スウェーデン、イギリスの4カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け))

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国(通貨ベース)およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

お知らせ

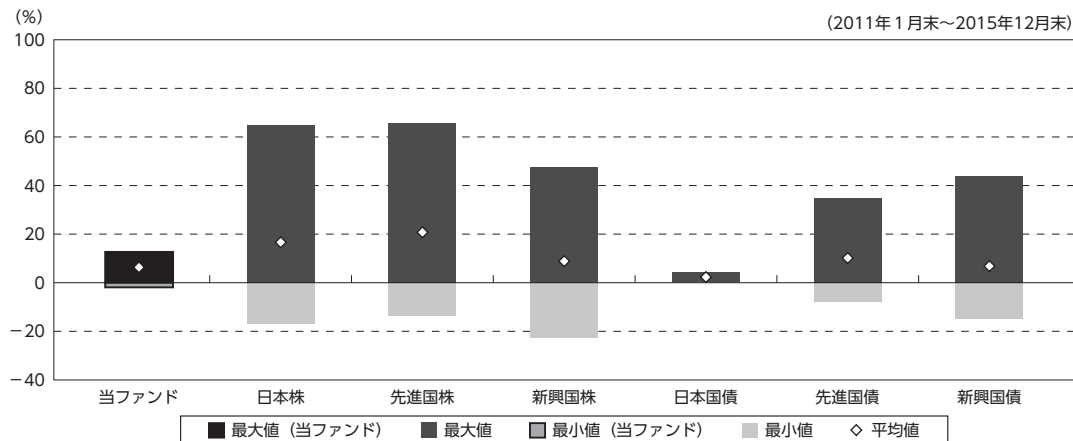
2015年7月11日から2016年1月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年3月25日から2028年1月11日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券に投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券 「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざします。
分配方針	毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.7	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△1.9	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△7.9	△15.0
平均値	6.3	16.6	20.7	8.8	2.3	10.2	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年1月から2015年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2014年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA - ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年1月12日現在)

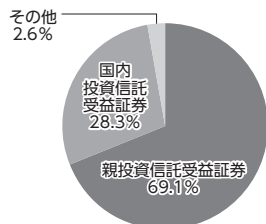
○組入上位ファンド

銘柄名	第34期末
	%
ソブリン(円ヘッジ) マザーファンド	69.1
高金利先進国ソブリン債券ファンド(適格機関投資家向け)	28.3
組入銘柄数	2銘柄

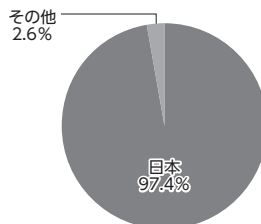
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

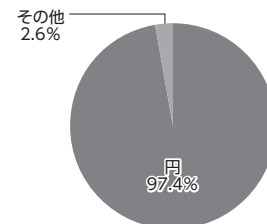
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2015年8月10日	2015年9月10日	2015年10月13日	2015年11月10日	2015年12月10日	2016年1月12日
純資産総額	2,292,550,664円	2,266,336,051円	2,292,404,947円	2,255,281,450円	2,269,145,545円	2,259,284,277円
受益権総口数	2,221,995,644口	2,238,659,883口	2,245,266,746口	2,233,161,224口	2,238,856,506口	2,259,875,635口
1万口当たり基準価額	10,318円	10,124円	10,210円	10,099円	10,135円	9,997円

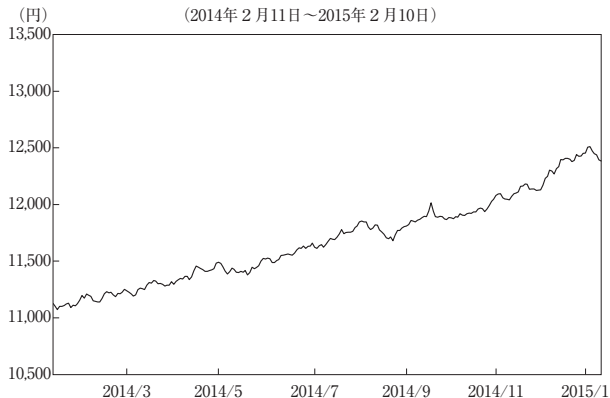
(注) 当作成期間(第29期~第34期)中における追加設定元本額は150,662,057円、同解約元本額は140,674,852円です。

組入上位ファンドの概要

ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年2月11日～2015年2月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年2月11日～2015年2月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.013 (0.013)
合計	1	0.013

期中の平均基準価額は、11,718円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年2月10日現在)

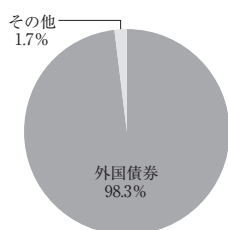
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	FRANCE (GOVT OF)	国債証券	ユーロ	フランス	5.6
2	BELGIUM KINGDOM	国債証券	ユーロ	ベルギー	4.7
3	FRANCE (GOVT OF)	国債証券	ユーロ	フランス	4.5
4	FRANCE (GOVT OF)	国債証券	ユーロ	フランス	4.5
5	BELGIUM KINGDOM	国債証券	ユーロ	ベルギー	3.9
6	FRANCE (GOVT OF)	国債証券	ユーロ	フランス	3.7
7	BELGIUM KINGDOM	国債証券	ユーロ	ベルギー	3.7
8	FRANCE (GOVT OF)	国債証券	ユーロ	フランス	3.5
9	UK TREASURY	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.4
10	UK TREASURY	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.1
	組入銘柄数			50銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

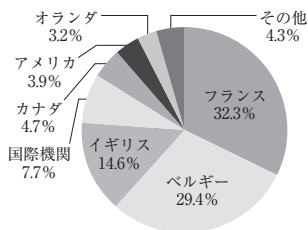
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

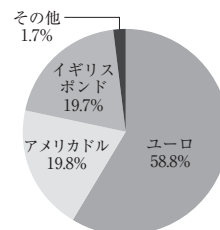
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



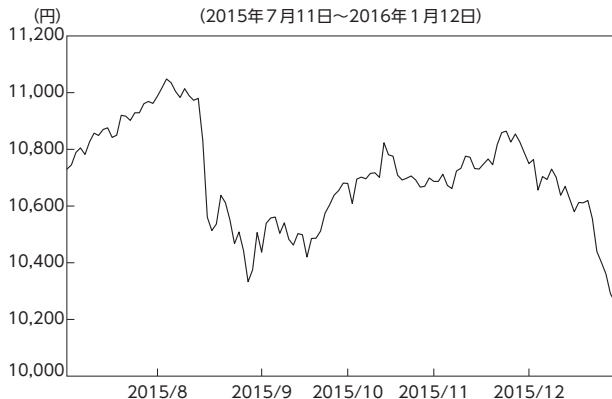
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

高金利先進国ソブリン債券ファンド (適格機関投資家向け)

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年7月11日～2016年1月12日)

項目	第29期～第34期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬 (投信(販受) 託信(売託) 会(会) 社(社) 会(社))	19 (17) (0) (1)	0.176 (0.165) (0.000) (0.011)
(b) その他費用 (保(監(印) 管(査(刷) 費(費(費) 用) 用) 用))	1 (1) (0) (0)	0.011 (0.007) (0.002) (0.003)
合計	20	0.187

作成期間の平均基準価額は、10,590円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

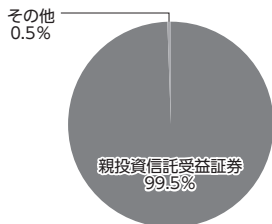
(2016年1月12日現在)

銘柄名	第34期末
高金利先進国債券マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

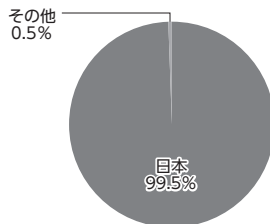
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

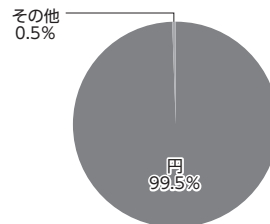
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

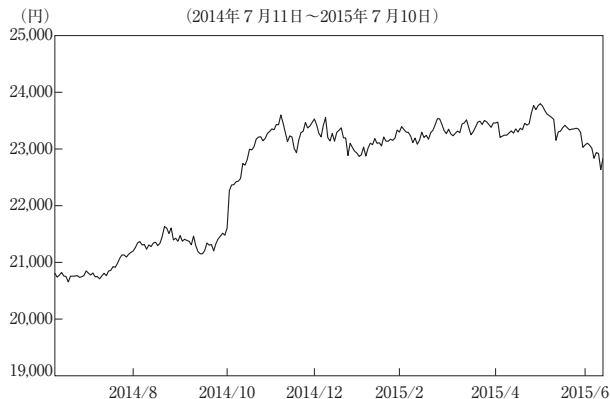


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

<ご参考> 高金利先進国債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年7月11日～2015年7月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.013 (0.013)
合計	3	0.013

期中の平均基準価額は、22,636円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年7月10日現在)

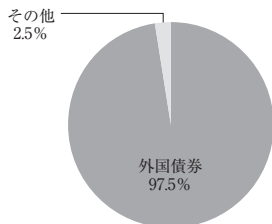
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	6.5
2	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	3.7
3	UK TREASURY	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.3
4	UK TREASURY	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.1
5	NEW ZEALAND INDEX LINKED	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.0
6	QUEENSLAND TREASURY CORP	地方債証券	ニュージーランドドル	オーストラリア	2.6
7	BRITISH COLUMBIA PROV OF	地方債証券	アメリカドル	カナダ	2.3
8	TSY INFL IX N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.1
9	US TREASURY N/B	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.1
10	UK TREASURY	国債証券	イギリスポンド	イギリス	2.1
	組入銘柄数		110銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

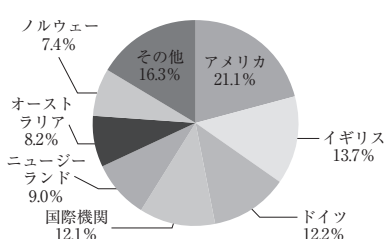
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

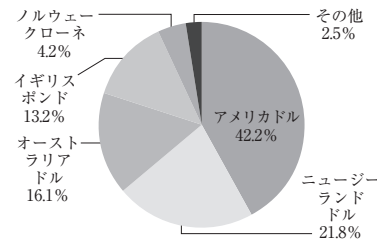
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

当指数は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。